

予備試験合格はここから始まる。

| Tatsumi style |

基礎集中講義

通信部 WEB 受講*/全 312 時間

*一部LIVE設定もあります。下部QRコードから当講座のHPをご覧ください。

講義では、予備試験合格に必要な思考力を。
スキマ時間、ながら時間の音声学習とアプリで基礎知識を。
メリハリをつけて効率よく学びましょう。

Together We Walk. 一緒に歩む 312 時間。

1. Web 講義だから好きな時に聞くことができる
- 2.好きな時にライブ講義にも参加できる
3. ユニット制で受講しやすい
4. テキスト・配布資料もすべてダウンロードできる
5. 講座音声もダウンロードできる
6. 記憶アプリでスキマ時間を記憶の時間へ



合格総合プロデューサー
原孝至先生

いつでも受講開始可能。受け方は自由自在、部活で忙しい学生の方も安心。
あなただけのカリキュラム設定が可能です。

受講者フォロー充実！ 納得の¥378,100*

*辰巳価格¥398,000(税込)を東京大学生協にてご購入の場合。



学習サロン&講義音声 DL

原先生がオンライン&
オフラインでサポート

移動時間が復習時間に
早変わり



記憶アプリ導入

MONOXER

短答復習アプリ

定義記憶アプリ



辰巳法律研究所 Tokyo/Osaka 提携校: Okayama
WEBスクール: <https://tatsumi-ws.com/>
<https://service.tatsumi.co.jp/>

基礎集中講義
の詳細は
こちら>>>





解くため、書くための 思考と知識を習得します。

辰巳専任講師・弁護士
原孝至先生

早稲田大学法学部卒・早稲田大学法科大学院（未修者コース）修了。
司法試験合格直後から辰巳法律研究所の教壇に立ち、辰巳のスタンダード論文答練、全国公開模試を通じて1,000通以上の答案を採点・添削。2012年以降は辰巳法律研究所で毎年基幹講座を担当している。

▼受講シミュレーションー（2月スタートの場合）
1年で基礎講座を無理なく消化できる

思い立った日が開講日。
豊富なシミュレーションを紹介。

>>>予備試験受験
LEVEL

基礎集中講義 312Unit



2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
オリエンテーション + 基本7科目	憲法 30unit	民法 66unit		刑法 45unit	商法 30unit	民訴 27unit	刑訴 27unit	行政法 27unit	民実 12unit	刑実 12unit

予備試験
スタンダード
講座

短答模試

論文模試

講座仕様

受講形態

通信部 WEB スクール
(一部 LIVE 設定あり)

科目

- 基礎1周目 全36時間
オリエンテーション 1時間
憲法・民法・刑法・商法・民訴法・
刑訴法・行政法 各5時間
- 基礎2周目 全276時間
憲法30時間 / 民法66時間 /
刑法45時間 / 商法30時間 /
民訴27時間 / 刑訴27時間 /
行政27時間

教材（冊子版 / PDF版）

- 基礎1周目
 - ①講座テキスト
 - ②講師作成レジュメ
- 基礎2周目
 - ①スタンダードテキスト
 - ②基本事例問題100
 - ③実務基礎ハンドブック

基礎

1周目

冒頭1時間のオリエンテーションに続き、法律基本7科目について、各5時間・合計35時間の講義を行います。素材は短答式試験問題5問と論文式試験問題1問を使用。

本試験問題を積極的に使用することで、合格するためには最終的にどのレベルの問題を解けるようになればいいのかが最初に把握します。

最初に合格レベルを知ることが実は合格の近道です。なぜなら、ここで体感した合格のイメージを頼りに学習を進めていくことができるからです。

基礎1周目はいわば「あなたの合格への羅針盤」を作る非常に重要なカリキュラムです。

基礎

2周目

基礎1周目をコンパスとし、基礎知識と思考方法の習得を速攻で済ませます。約276時間と比較的短時間ではありますが、合格者からも評価の高い辰巳オリジナルテキストに、事例問題を交えながら、基礎的な知識とその使い方をしっかり学習していきますので、カリキュラムをこなすだけで、年明けから本格答練に参加しても十分な学習成果が得られます。

忙しい日々を送る学生の皆さんでも学習しやすいように、1コマを1時間のユニットに細分化。時間のない時は1ユニット、時間のある時は4ユニットと自由自在に学習予定を立てることが可能です。

このように、基礎をある程度集中して学習し、その分、書く力を養成するための指導に時間を当てる。これが辰巳の「基礎集中講義」の特徴です。

短期合格者の学習方法

予備試験合格の鍵を握るのは復習です。復習の際、テキストを何度も読む、講義を聞くというよりは、問題を解く。これが予備試験短期合格者に共通する特徴です。

例えば、講義を聞いたら、すぐに辰巳の「短答過去問パーフェクト（短パフェ）」を解く。すぐに「基本事例問題（講座資料として配布）」を解く。

コース申込の方は「論文答案力養成講義」の問題を解き、必要に応じて講義を聞く。机に向かうことができる時間はできるだけ、問題を解く時間に使いましょう。

講義の聞き直しや知識の確認は移動時間やスキマ時間をフル活用。スマホで音声を聞いたり、アプリを使って行いましょう。このように勉強の濃淡をつけ、時間をうまく使うのが短期合格のカギになります。ぜひ参考にしてください。



司法試験・予備試験
短答過去問パーフェクト 2024
※写真は憲法です。



辰巳の基礎集中講義

◆スタンダードテキスト

「これ1冊」で基礎知識を網羅できるよう工夫されたスタンダードテキストは、重要判例を重視し、該当する論点に関連するものを適宜掲載しています。重要な基本書、学説等の紹介も十分に配し、勉強中に他の文献に当たらなければならないということはありません。「これ1冊」とはそういう意味です。

テキスト見本
はこちら



【憲法】

第2章 包括的基本権

第1節 幸福追求権

(個人の尊重、生命・自由・幸福追求の権利の尊重)

第13条 すべての国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

13条前段の個人の尊重は、後段の「立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」と一体化し、「個人の尊厳」原理が、立法・行政・司法の各国家作用に貫徹されなければならないことを規定する。したがって、13条は、人権保障の一般原理を示したものであることができる。

ここでは、それにとどまらず、幸福追求権それ自体に具体的権利性を認めることができるか、その内容をどう考えるべきかが問題となる。

I 幸福追求権の具体的権利性

第1 議論の背景

1960年代以後、従来の人権カタログには含まれない「新しい人権」がえられるようになった。環境権、日照権、眺望権、情報権、アクセス権、プライバシー権、嫌煙権、さらには、豊かに生きる権利というようなものまで、数えあげればきりが無いほどである。このような新しい人権が認められるようになった要因としては、次のようなことが考えられる。

- 国民の憲法意識が高まり、憲法が国民の日常生活のうちに浸透すること
- 憲法制定後今日に至るまでの社会的変動が激しく、また国民の要求が多様化したこと

第2 具体的権利性の有無

【憲法】

論点01
幸福追求権の具体的権利性の有無は、以上のような背景において主張されるようになった権利が侵された場合に憲法に基づき裁判上の救済を受けることができるかという問題である。

A 消極説
具体的権利を保障したのではない。
(理由)
① 具体的内容をもった法的権利というにはあまりにも漠然としている。
② 憲法には詳細な人権規定がある。
③ 国政の一般原理の宣言と個別的具体的権利の保障とは両立しない。

B 積極説(通説)
具体的権利を保障したものである。
(理由)
① 憲法の人権宣言のカタログは歴史的に認められた重要性のあるものを列挙したにとどまり、人権がそれに尽きるという趣旨ではない。
② 憲法制定当時は予想もなかった法益侵害が、社会の進歩・複雑化に伴って生じてきており、これを憲法上の権利とみて救済する必要性が生じている。
③ アメリカ独立宣言当時の幸福追求権は、個別的・具体的権利を内実とするものであった。

【判例】 京都府学連事件 最大判昭44.12.24. 百選I No.18
【事案】 京都府学連主催のデモ行進に参加した際に警察官に写真を撮影されたデモ隊員が、肖像権の侵害としてその適法性を争った。
【判旨】 「個人の私生活上の自由の侵害として、憲法第13条の幸福追求権に抵触するものがある」として、違法性を認め、差止めを命じた。

受講生の声

司法試験合格者
M.Fさん

基本から細かく書いてあって、科目ごとに全体の流れが分かっていたという面がとてもよかったですと思います。判例の引用なども判旨の重要な部分の引用が多くされていて、それがとてもわかりやすかったですと思います。

◆受講スタイル

基礎・短答・論文を同時進行。 これが短期合格者共通の学習法。

学生はこう合格

学生の強みは時間の融通が利くところにあります。この利点を活かして、短期合格者の学習方法をまねましょう。具体的には、とにかく積極的に短パフェ*を解き、答案を書きましょう。学習初期から、解けば解くほど、書けば書くほど合格に近づきます。その上で、学校の行き帰りとスキマ時間に、講義の復習と暗記物をつっ込むのがオススメです。集中力を高め、短答を約3か月で突破した方もいます。ぜひ頑張ってください。

*短パフェ=短答過去問パーフェクト；司法試験・予備試験の短答本試験全過去問解説書です。辰巳独自の出口調査に基づく正答率がついた受験生必携アイテムとなっています。

◆受講シミュレーション・イメージ (2024年スタートの場合)

2024.1~12	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
	基礎	短答	論文	基礎	短答	論文	休日
	短答						休日
	論文						
2025.1~	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
	短答						休日
	論文						

前日に受講した基礎講座を問題形式で復習。インプットした情報をすぐに使うことで基礎知識が使える状態で定着します。

短答と論文を3:7くらいのイメージで学習されることをおすすめします。アプリ教材でスキマ時間もうまく使って学習してください。

◆受講料 (税込)

講座名	講座コード	辰巳価格	代理店価格
基礎集中講義	E5002E	¥398,000	¥378,100

東京大学生協ならお得に
申込が可能です。

◆基礎集中講義を推薦します。



**20歳・大学3年在学中に2年で予備試験合格！
翌年に司法試験一発合格！**

A.Kさん

千葉大学法政経学部4年在学中

■辰巳の基礎講座受講のきっかけ・選んだ理由

原先生の基礎講座の憲法の講義の音声ファイルをダウンロードして試聴することができることを知り、講義を体験しました。その際、原先生の話して下さる内容が、とても楽しく、自然と頭に入って来ると感じました。私としては最後まで飽きずに楽しんで聞くことができるかという点を重視して選びたいと思っていました。原先生の基礎講座はまさに、そんな私のニーズにも合致しており、受講させていただくことになりました。

■辰巳の基礎講座を受けてみて

何よりも良かったと思うのは、まず法律の基礎知識を効率的に身につけられることだと思います。やはり法学を学び始めた時点で、自力で基本書を読んでも、どの部分が重要なのかということには分かりにくいのですが、それを教えて頂いた点が大きいと思います。また始めに先生から教わったことで、自然と法的思考というものが身についていき、その後の自習の効率が上がったり、未知の問題にも対処できる力がついたと感じています。



**日本法をゼロから学習して、2年で予備試験合格！
翌年に司法試験一発合格！**

M.Fさん

LSE 大学法学部卒業 / BPP 大学院卒業

■辰巳の基礎講座受講のきっかけ・選んだ理由

無料受講がwebでできるとのことだったので試しに講義の様子をおさめた映像をみたところ、初學者の私でもわかるようなわかりやすい具体例などを用いて講義を進めていて、これなら私でもなんとかなるかもと思ったのが基礎講座受講のきっかけです。特に私は短期で基礎を固めたかったので、基礎講座のスケジュールが他の予備校の入門講座より短い1年未満であったことが受講の決め手になりました。またアウトプットを意識したインプットの重要性を強調されており、事例問題を解きながら、法律知識を入れてインプットをするというスタイルが、予備試験合格のためには理にかなっているものだと感じたことも受講した理由です。

■辰巳の基礎講座を受けてみて

私は秋生として9月からの途中参加で、講義についていけるかとても不安でした。しかし終わってみると不思議と「思ったよりわかったかも」という印象を抱きました。それからすぐに原先生の講義スタイルに慣れ、講義の最初や休憩時間から戻ってきたときに話して下さる小話がとても面白くあつという間に講義時間である3時間が過ぎるようになりました。判例の解説もただ判旨を読むだけでなくその判例の具体的事案のバックグラウンドや裏話を教えて下さるので判旨の内容がずっと入り、今でもすぐに思い出せるので判例知識の定着につながったと思います。

Next Step!

基礎集中講義が終わったら、一気に予備試験合格を目指そう。

2025年1月生

辰巳法律研究所
あなたの為言 辰巳の講義

予備試験合格講座

Together We Walk.
合格へ共に歩もう。

月々20,600円からお申込みOK
※パッケージコース36回払いの場合

辰巳から4つの新提案

- いきなり予備試験
- アウトプット重視
- 時間総動員計画
- 魂の二人三脚

「法律は面白い」★無料体験実施中★

原先生の講義を無料で公開中！無条件登録も必要ありません。ログイン後ダウンロード可能です！「法律は面白い」を実感できる講義をあなたにお届けします！！

辰巳法律研究所
https://service.tatsumi.co.jp/

合格までプロフェッサー 原 孝至 先生

Newコンセプトの講座が誕生しました。

インプットではなくアウトプットで勝負する。
これが辰巳の新しい提案です。

カリキュラムの特徴

- 1 **いきなり予備試験**—カリキュラムの最初に試験の出題レベルを体験する
=目的地が分からなければゴールできません！
- 2 **アウトプット重視**—最初から最後まで問題を解き続ける
=問題が解けなければ合格できません！
- 3 **時間総動員計画**—デジタルコンテンツ・アプリをフル活用
=スキマ時間・ながら時間も全部突っ込んで合格する！
- 4 **魂の二人三脚**—辰巳も講師も合格させたいと心を燃やす
=皆さんと辰巳と講師と。二人三脚で予備試験に合格する！

予備試験合格講座
の詳細はこちら



東京大学生協ならお得に申込が可能です。